

文部科学省新庁舎エントランスにて企画展示 ニュートリノ観測施設IceCube(アイスキューブ) ～南極点のニュートリノ・ハンター～

千葉大学は、令和元年8月19日より文部科学省エントランス正面（新庁舎2階）にて「ニュートリノ観測施設IceCube(アイスキューブ)～南極点のニュートリノ・ハンター～」と題して、大学院理学研究院附属ハドロン宇宙国際研究センターが参加する世界最大規模のニュートリノ観測実験についての展示を行います。8月29日には、センター長と学生によるトークイベントも予定しています。皆様のお越しをお待ちしております。

千葉大学大学院理学研究院附属ハドロン宇宙国際研究センターは、南極点で行われている「IceCube（アイスキューブ）」ニュートリノ観測実験に参加しています。南極点の広大な氷河下に5160個の光検出器を埋め、氷の中を通り抜けるニュートリノという素粒子を検出する国際共同実験です。その目的は、宇宙から地球に向かって飛んでくる高エネルギーニュートリノを生成している超高エネルギー宇宙線の謎を解明することです。また、透過力の高いニュートリノで宇宙を「見る」ことにより、ベールに包まれていた新しい宇宙の姿を探ることもできると期待されています。

千葉大学チームは、「IceCube」に日本から唯一の研究機関として開始当初より参加しており、検出されたニュートリノの解析、検出器の改良などを担当しています。

令和元年7月16日に発表されたこの実験のアップグレード計画においては、千葉大学チームが開発した新型光検出器「D-Egg」が採用されることとなりました。今回の展示会では、その新型検出器の展示も行います。また、8月29日（木）に行われるトークイベントでも詳しくご紹介いたします。

記

【展示期間】

令和元年8月19日（月）～9月24日（火）

【開館時間】

月曜～金曜10：00～18：00

（入館時間は17：30まで。土曜・日曜・祝日は休館）

【展示会場】

文部科学省エントランス（新庁舎2階入り口右側）

（東京都千代田区霞が関3-2-2）※入場無料

【主な展示物】

展示品：「新型光検出器D-Egg」「観測施設ジオラマ」他
パネル：「IceCube実験」「不思議な素粒子ニュートリノ」
「南極点へ出発！」他

トークイベントについて

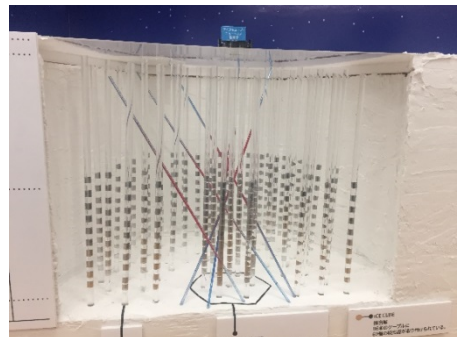
令和元年8月29日（木）13：00～14：00

文部科学省旧庁舎1階 情報ひろばラウンジ ※入場無料

ハドロン宇宙国際研究センター長の吉田滋教授と検出器の開発に携わる大学院生が、実験の概要やニュートリノについてお話しします。



新型光検出器 D-Egg



IceCube観測施設ジオラマ

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
国立大学法人千葉大学 ハドロン宇宙国際研究センター
TEL： 043-290-2763 メール：icehap@ml.chiba-u.jp